

岐阜工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	電子制御工学実験Ⅲ
科目基礎情報					
科目番号	0082		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	実験		単位の種別と単位数	学修単位: 3	
開設学科	電子制御工学科		対象学年	5	
開設期	通年		週時間数	1.5	
教科書/教材	配属先の研究室指導教員から、参考資料等が指示される。				
担当教員	藤田 一彦, D科 教員				
到達目標					
<p>自主的に研究課題に取り組み、研究課題の問題点を把握し、問題解決方法を模索し、発表会で発表する過程を通じて、総合的な問題解析能力と日本語によるプレゼン能力を習得する。</p> <p>①研究に必要な調査・探索能力を身につけることができる。</p> <p>②問題抽出・検討能力を身につけることができる。</p> <p>③課題解決のための設計・計画能力を身につけることができる。</p> <p>④日本語によるコミュニケーション能力を身につけることができる。</p>					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	研究に必要な文献や特許を8割以上の確さで調査・探索することができる。	研究に必要な文献や特許を6割以上の確さで調査・探索することができる。	研究に必要な文献や特許を的確に調査・探索することができない。		
評価項目2	研究課題の問題点を8割以上の確さで抽出し検討することができる。	研究課題の問題点を6割以上の確さで抽出し検討することができる。	研究課題の問題点を的確に抽出し検討することができない。		
評価項目3	8割以上の確さで課題解決のためにすべきことをまとめ、計画を立てることができる。	6割以上の確さで課題解決のためにすべきことをまとめ、計画を立てることができる。	的確に課題解決のためにすべきことをまとめ、計画を立てることができない。		
評価項目4	研究課題について解析・計画した内容を日本語によって8割以上の確さでプレゼンテーションすることができる。	研究課題について解析・計画した内容を日本語によって6割以上の確さでプレゼンテーションすることができる。	研究課題について解析・計画した内容を日本語によって的確にプレゼンテーションすることができない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	<p>主として以下の分野について、実験的な研究を30週に亘って遂行する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ロボティクス・メカトロニクス分野</li> <li>2. 計測・制御分野</li> <li>3. 画像処理・情報処理</li> <li>4. 半導体・誘電体分野</li> <li>5. その他の分野</li> </ol>				
授業の進め方・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究課題に関連した文献を自主的に調査・探索し、幅広い知識を身につけることが求められる。</li> <li>・授業時間だけでなく、指導教員の指示の基に自主的な取り組みを行うことが求められる。</li> <li>・継続的・持続的計画性が必要である。</li> </ul>				
注意点					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	文献の講読		
		2週	文献の講読		
		3週	研究に必要な知識の習得		
		4週	研究に必要な知識の習得		
		5週	研究に必要な機材等に関する学修および操作方法の習得		
		6週	研究に必要な機材等に関する学修および操作方法の習得		
		7週	実験装置または解析用プログラムの作製		
		8週	実験装置または解析用プログラムの作製		
	2ndQ	9週	実験装置または解析用プログラムの精査		
		10週	実験装置または解析用プログラムの精査		
		11週	実験または解析		
		12週	実験または解析		
		13週	実験または解析結果の精査		
		14週	実験または解析結果の精査		
		15週	実験装置または解析用プログラムの改良		
		16週			
後期	3rdQ	1週	実験装置または解析用プログラムの改良		
		2週	実験結果または解析結果に基づく考察		
		3週	実験結果または解析結果に基づく考察		
		4週	研究室での研究進捗状況報告および討論		
		5週	研究室での研究進捗状況報告および討論		
		6週	研究成果のまとめ		
		7週	研究成果のまとめ		
		8週	報告書の作成		

4thQ	9週	報告書の作成	
	10週	発表要旨の作成	
	11週	発表要旨の作成	
	12週	発表準備・練習	
	13週	発表準備・練習	
	14週	発表準備・練習	
	15週	発表会での発表	
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	実験レポート	予稿原稿	発表会	態度	合計
総合評価割合	20	10	10	60	100
専門的能力	20	10	10	60	100